

# 選挙の概況

## 1 まえがき

参議院大分県選出議員補欠選挙は令和5年4月6日に告示され、4月23日に投票が行われた。この選挙は、現職議員が大分県知事選挙へ立候補するため辞職したことにより行われたものである。

本選挙のほかに、全国では衆議院小選挙区選出議員補欠選挙も4選挙区（千葉5区、和歌山1区、山口2区、同4区）で執行され、いずれも与野党対決の構図となり、経済対策、安全保障などを争点として選挙運動が繰り広げられた。

本選挙の啓発としては、大分県知事選挙及び大分県議会議員選挙に引き続き、新有権者による街頭啓発やSNSなどを活用した情報発信を行い、主に18歳～30歳代の若年層を中心に投票参加を呼びかけたものの、大分市長選が72年ぶりの無投票となったことなどもあり、本選挙の投票率は42.48%であり、参議院大分県選出議員選挙の投票率としては過去最低だった。

## 2 管理執行

### (1) 候補者及び当選人について

定数1人に対し、自由民主党1人と立憲民主党1人が立候補し、自由民主党新人の候補者が当選した。

### (2) 投票状況について

#### ① 投票用紙

1,006,500枚を印刷し、クリーム色の用紙に黒刷りとし、規格は縦13cm、横9cmの縦長とした。

また、点字器使用者の便宜を図るため、紙質を厚くし、点字シールで選挙の種類を表示した点字投票用紙も3,700枚印刷した。

なお、総務省において作成した在外投票用紙を在外選挙人名簿登録者数に応じて各市町村へ配付した。

#### ② 投票所数

投票所は、県内で593箇所あり、そのうち投票所の閉鎖時刻を繰り上げたのは全18市町村で、繰り上げ数は、1時間の繰り上げが201箇所、2時間の繰り上げが187箇所、3時間の繰り上げが43箇所、4時間の繰り上げが9箇所の、合計440箇所であった。

#### ③ 投票率

本選挙の投票率は、男性42.65%、女性42.33%の平均42.48%だった。

#### ④ 無効投票

無効投票は、投票総数391,903票のうち8,861票で無効投票率2.21%だった。

### (3) 開票状況について

#### ① 開票状況

投票日当日、各市町村の開票区ごとに開票を行った。確定が最も早かったのは、九重町で午後8時37分であった。最後に確定したのは、中津市で午前0時7分であった。

#### ② 開票速報

投開票の速報の受理、集計及び記録を行うため、県庁舎本館2階正庁ホールに速報本部を設置した。報道機関向けの発表は全てEメールで行った。

速報処理に関しては、電話・ファックス16台、パソコン8台を使用した。

速報に要した人員は、総括責任者以下31人であった。

#### (4) 選挙会及び当選証書付与について

参議院大分県選出議員補欠選挙選挙会は4月26日午前11時00分から県選挙管理委員会室で開催された。当選証書の付与は、同日午後1時30分から県庁舎本館議会棟第6委員会室で行った。

#### (5) 選挙公営について

##### ① 政見放送

参議院大分県選出議員補欠選挙の政見放送は、候補者が行い、テレビは4月12日から4月20日までの間にNHK 2回、OBS 1回、TOS 1回、OAB 1回の計5回、ラジオでは4月14日から4月19日までの間にNHK 2回、OBS 1回の計3回が放送された。

##### ② 選挙公報

新聞紙大（ブランケット版）の用紙に印刷し、4月8日及び同9日に各市町村へ発送した。候補者2人について掲載した。

##### ③ ポスター掲示場

ポスター掲示場の設置箇所数は3,703箇所、ポスター掲示面の区画数は8区画とした。

### 3 明るい選挙推進運動について

「新有権者」等による街頭啓発はJR大分駅前で大分県大学生による街頭啓発を行い、投票参加を呼びかけた。また、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、広告塔、横断幕、広報車等を通じて、投票方法の周知や投票参加の呼びかけを行った。特に若年層に対する啓発に重点を置き、動画やSNSなどインターネットを利用した啓発を拡充した。